

2008年11月12日
ハートフォード生命保険株式会社

一部報道に関して

一部報道によるハートフォード生命保険株式会社（以下、「ハートフォード生命」）に関する記事に事実と異なる点がございましたので、以下ご説明させていただきます。

「アダージオ 3WIN」について

2007年2月から販売を開始しております変額個人年金保険「アダージオ 3 WIN」は、積立金額が基本保険金額の80%以下（下限値）に到達した時点で、資金を特別勘定から一般勘定へ移行する機能を有する商品です。下限値に到達したご契約については、15年間の年金受け取り、もしくは一括受け取りの2つの方法をご選択頂けます。15年間の年金受け取りの場合は、一時払保険料相当額が受け取り総額で保証されます。また一括受け取りの場合は、一時払保険料相当額の80%が保証されます。

現状および当社の対応

昨今の株価急落を受け、当商品において、10月第2週以降下限値に到達した契約が発生し、本日現在9割以上の契約が下限値に到達しております。該当するご契約者様には、「年金移行のお知らせ」を順次送付しており、現在受け取りに関する手続きを滞りなく進めております。

下限値に到達した「アダージオ 3 WIN」以外のご契約については、従来通り運用を継続しております。

業績について

当商品の下限値到達について、当社の親会社であるザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービス・グループ・インク（以下、ハートフォード）は、10月29日（米国時間）に発表した第3四半期業績において、「2008年見通し」に関し「日本の変額年金商品において、アカウントバリューが下限値に達した事に関する税引後利益の減少額が1億8,500万ドルから2億2,500万ドル」を見込むとしております。しかしながら、日米会計基準の相違により、ハートフォード生命の業績においては、一部報道にあるような損失は発生しません。

ハートフォードおよびハートフォード生命は、強固な財務基盤を維持し、十分な資本を確保しているため、ご契約者様への支払能力について問題はありません。今後、さらに市況が今まで以上に深刻化した場合でも、資本基盤およびご契約者様とのお約束を果たす能力について確信をもっております。

以上